

川の市民情報

2021年
2国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所RCM事務局 URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM) : 住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

相模川で簡易代執行を実施しました

令和3年1月27日(水)に、相模川(神奈川県平塚市須賀字札場北地先)で簡易代執行※を実施しました。

当事務所が管理している相模川(神川橋より下流)においては、過去から数多くの不法係留船や施設が存在し流出事故も発生するなど河川管理に支障を来していたことから、その除却に取り組んでいます。

平成23年度には関係機関等と近接する神奈川県管理河川も含めた水面等利用者協議会を立ち上げて対策に乗り出し、平成28年度には重点的撤去区域(裏面図)を定めたものです。

そして平成28年度から平成29年度にかけて大部分の係留施設及び船舶を行政代執行及び簡易代執行にて撤去したものです。

今回は、平塚市須賀字札場北地先に不法放置された船舶1隻について相手方が判明しなかったことから、簡易代執行として撤去を行ったものです。

当日は、放置箇所から撤去し保管場所まで運ぶ作業を行いました。今後は一定期間保管したのち、名乗りでなければ処分ということになります。河川管理者として安全で快適な河川利用の推進を図ってまいります。

※簡易代執行※ 河川管理者が、河川区域内の違法放置物件等について、河川法第75条第1項の監督処分を行うにあたり、過失がなくて相手方が確知できないとき、相当の期間を定めて公告した上で、自らが監督処分に係る措置を行うことができる制度のこと。



→裏面へ

→表面より

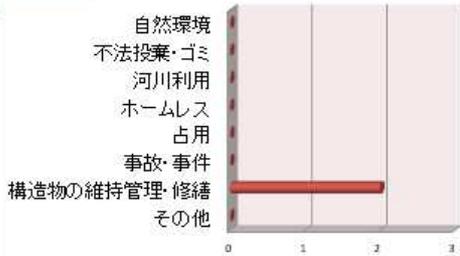
図 重点撤去区域対象区域



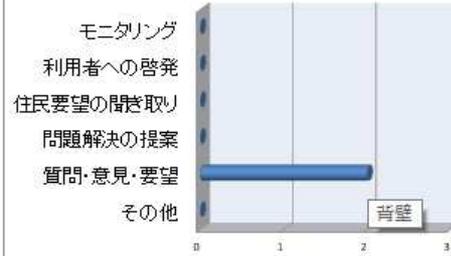
RCM活動報告 令和3年1月

今回は、2件のご報告を頂きました!

対象分野



連絡内容



管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	3人	0人	0件
鶴見川上流	5人	0人	0件
多摩川下流	2人	0人	0件
多摩川中流	4人	0人	0件
多摩川上流	1人	0人	0件
相模川	7人	2人	2件
浅川	1人	0人	0件
合計	23人	2人	2件

1月の御報告より

皆様からの御報告 お待ちしております!

相模川分科会 中谷泰二さまより

相模川右岸堤防平塚市中堂地先川表道路付近について、昨年、ひどい陥没箇所の発見をいくつもみつけて、RCM皆や市民利用者の声を代表して、中谷亜子さんが報告されています。この後、毎日、この道路や河川敷、遊歩道ゴミ収集活動や見回り活動をして、河川事務所による修繕対応を待っていますが、半年近く経っても何もなされていません。

コロナ緊急事態宣言下でも、ここは多くの市民が変わらず利用をしていて、陥没箇所をさけたりよけたり、大変不便に通行をしています。その後、ベルマーレ関係者・消防救急車・警察も同様に通行しています。早く安全で良好に通行できる状態にするように、修繕してもらえることを待っています。また、工事をした後も、定期的な維持管理工事をして頂けるような仕組みや予定を実現してもらえるように、皆で希望しています。

よろしくお願ひ致します。

【ご連絡ありがとうございます。当該通路は先般よりお知らせしているとおり、サッカー場や民間マリーナ関係者による利用もある状況ですが、堤防などの河川施設の変状の有無などを確認するための施設となっており、これら河川管理施設に影響を及ぼすものや河川管理上支障がある場合に修繕等対策を実施しています。消防部局に確認したところ、「当面の走行に支障は生じていない」と聞いており、現状において緊急用車両の通行に支障が生じているとは考えておりません。今後も状況を見つ、緊急車両の通行に支障が生じるなどのほか、河川利用者の安全確保に必要なと判断した場合は修繕対応を行うことを検討して参ります。

なお、河川区域内の民有地への出入りなどに支障が生じている場合、当該民有地所有者等による補修作業の許可が可能な場合もありますので、当該作業をご希望のある場合は出張所までご相談ください。】

RCM事務局より

1月に出された2回目の緊急事態宣言が2月にはいり4週間延長されました。関東地方整備局でも引き続き政府の基本的対処方針に基づいて緊急事態宣言以前より在宅勤務を増やしている所です。これから年度末を迎え徐々に業務量も増えつつあるところですが、ニューノーマル時代の仕事スタイルに慣らしていきたいところです。こんな状態ですので下半期の分科会も開催できていませんが、コロナ後に皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

RCM事務局 鈴木、関屋